



「思わず寄りたい」

お店づくりにチャレンジ【第5回】

テーマ1:ファサード(店舗正面外装) 実践編

前号まで3回にわたりファサード(店舗正面外装)の重要なポイントを説明してまいりました。今回は、実践編として“間口感・高級感・清潔感・明るさ”が具体的にどのように改善されたのか、モデル店の事例をご紹介します。



改装前

- 「手売り」の充実へ。
- 兼業店(お菓子)から、ビル新築に伴い、たばこ売場面積約3坪の専門店への転換。



改装後

改善のポイント

1.“間口感”の演出

- ①パラペット(庇)部分の重点的改善＝らん間看板およびアーム式テントの設置。
- ②エントランスホールの新設等＝建物をセットバックし、スペースを確保◇入口ドアを店内側へ斜めに設置。
- ③買いやすさの工夫＝ウインドーケースをL字形に配置し、お客様の視覚に訴える面積を拡充。

2.“高級感・清潔感”の表現

- ①色彩バランスの統一＝らん間看板、ドア枠、サッシおよびウインドーケースなどの什器の色彩を、ブラックおよびシルバー系ベースで統一。
- ②什器の工夫＝L字形陳列部分に、ディスプレイスペース(ガラス棚)を組み入れ、個装ダミー170銘柄以上のボリューム感を演出(季節感の表現や新製品の紹介も可能)。

3.“明るさ”の表現

——店舗全体にわたって強い“明るさ”を表現——

- ①パラペット部分＝らん間看板上部に屋外型スポットライト(100W×4灯)を設置。
- ②エントランスホール部分＝ウインドーケース前面の天井部分に、照明用シーリングライト(85W×4灯)2基を設置。
- ③たばこ自動販売機＝「光の柱」として、店舗前面両サイドに設置。